

タイトル	2012年度経営学部活動報告
著者	
引用	北海学園大学経営論集, 11(1): 87-118
発行日	2013-06-25

## 2012 年度 経営学部活動報告

私たち経営学部は、私たちの教育や研究の活動状況について広くご認識いただき、かつ経営学部が持つさまざまな魅力を見いだしていただきたいとの願いから、毎年度「経営学部活動報告」を発刊しています。

小冊子ながら、2012年度の興味深い講義や事業、所属学生の様子、所属教員の研究活動、そして市民のみならずや高校生に向けた対外的な活動の状況等を以下のようにまとめました。いずれもコンパクトにわかりやすく、画像を多く含んで見やすく作成しておりますので、ぜひお手にとってご覧ください。

経営学部の新たな魅力を再発見していただける機会になれば幸いです。

1. 北海道経済産業局特別講義『北海道の地域産業政策』
2. 北海道中小企業家同友会連携事業 特別講義『地域経営者に学ぶ 工夫—蓄積—創造』
3. 特別講義『地域金融を学ぶ』
4. 産学連携講座『金融・証券講座』
5. 特別講演会
6. 学部学生の企業研修
7. 市民公開講座
8. 保護者懇談会
9. 高校生向け授業（出前講義・高大連携授業）
10. 講義支援システム GOALS
11. 就職内定状況
12. 経営学部開設10周年記念講演・シンポジウム
13. 経営学部教員の書籍出版活動・学会発表活動
14. 経営学部刊行物
15. 人事異動等
16. 経営学部の教育目標

# 1. 北海道経済産業局特別講義『北海道の地域産業政策』

日 程：2012年4月18日から7月18日 隔週水曜日 14:20~17:30

会 場：7号館 D20 教室

概 要：本講義は、経済産業省北海道経済局の職員が講師を務めます。

豊かな道民生活を支える北海道地域経済の現状と課題を整理した上で、急速に変化する経済環境の中、道内の各地域や産業・企業がどのような状況で、どのような対応を行うことが求められているのか。また、国としてどのような認識、メカニズムで地域産業のイノベーションを支援しているのかについて、現場での具体例を盛り込みながら講義を進めます。

これにより、各セクターの経営を左右する経済が生き物であること、これに地域、産業・企業がどう対応し発展するのか、その際、政策がどのようにかわるのかについて、地域経営等の視点から理解を深めていただくとともに、受講自身の果たす役割、社会との関わりについて考える機会を設けることを目的としています。



## 2012 年度 特別講義『北海道の地域産業政策』 カリキュラム

講義日	講義内容	担当課
4月18日(水)	1 ガイダンス	企画課
	2 経済政策運営	総務課
4月25日(水)	3 北海道経済概観	調査課
	4 中小企業政策	中小企業課
5月9日(水)	5 ものづくり産業政策	製造産業課
	6 食関連産業の振興	産業振興課
5月23日(水)	7 産業立地促進政策 商業・中心市街地活性化政策 サービス産業政策	産業立地課 流通産業課 サービス産業室
	8 産業人材政策・創業支援	産業人材政策課
6月6日(水)	9 技術開発支援・知的財産政策	産業技術課
	10 エネルギー政策	エネルギー対策課
6月20日(水)	11 環境政策	環境リサイクル課
	12 北海道バイオ産業成長戦略	バイオ産業課
7月4日(水)	13 情報産業政策	情報政策課
	14 消費者政策・製品安全政策	消費経済課
7月18日(水)	15 国際経済交流の推進 総括議論	国際課 企画課

※各回 平均 200名が受講



## 2. 北海道中小企業家同友会連携事業

### 特別講義『地域経営者に学ぶ 工夫—蓄積—創造』

日 程：2012年9月19日～12月19日 毎水曜日 12：40～14：10

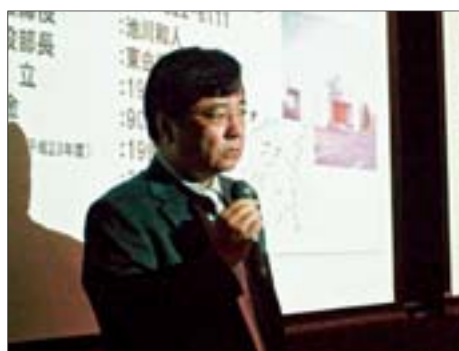
会 場：7号館 2階D20教室

概 要：北海道中小企業家同友会で活躍している経営者を講師に迎え、これまで実践されてきた経営についての講演をお願いした。

学生には、経営者の工夫と志と感想を一貫して求めている。学生たちは、実際の経営者の意思決定や判断、工夫やアイデア、そのための準備、組織をまとめ上げる努力といった活動と、経営学の授業で学ぶ抽象的な説明や理論を結びつけ意味を理解する。とりわけ、新製品やサービスの工夫や設計をどのようにおこなうか学ぶことを意図している。

この授業では、経営学を立体的に、明確に学びとることをめざす。また、実社会で働くという事の面白さを、従業員の側から、経営者の側から、起業家の側から感じることができ、個々のキャリア計画を促進させることができる。

	企 業 名	講 師 名
1 回	オリエンテーション	経営学部教授 大平 義隆
2 回	北海道オフィスマシン株式会社	代表取締役社長 神野 裕三
3 回	株式会社 プリプレス・センター	代表取締役 藤田 靖
4 回	株式会社 白石ゴム製作所	代表取締役 千葉 武雄
5 回	環境開発工業株式会社	代表取締役 山田 太郎
6 回	株式会社 レイジックス	代表取締役社長 敬禮 匡
7 回	株式会社 日新工業	代表取締役社長 渡部 正博
8 回	株式会社 アスクゲートトラスト	代表取締役 荒田 祐一
9 回	株式会社 ティーピーバック	代表取締役 池川 和人
10 回	北海道トンボ株式会社	代表取締役 岡田 宏
11 回	アイリスク研究所株式会社	代表取締役 川合 秀博
12 回	株式会社 内池建設	代表取締役 内池 秀敏
13 回	曲イ 田中酒造株式会社	代表取締役 田中 一良



### 3. 特別講義『地域金融を学ぶ』 —信用組合の制度と役割—

日 程：2012年9月19日～2013年1月9日 毎水曜日 14：20～15：50

会 場：7号館 2階D20教室

概 要：本講義は、これまで日本のどこの大学でも学ぶことのできなかった、地域経営者にとって最も重要な外部環境である地域金融機関に講義を行ってまいります。全国信用組合中央協会の協力を得て、札幌中央信用組合の経営者、管理者を中心として行われます。

学ぶ内容は、国と道の金融政策、地域金融の役割・戦略と管理・具体的な仕事・地域経営者の関係・求める人材、です。

	内 容	講 師
1 回	ガイダンスー地域金融論特講で学ぶことー	経営学部教授 大平 義隆
2 回	地域金融と信用組合のあり方	(社)全国信用組合中央協会 常勤顧問 野村 功
3 回	信用組合の歩みと役割	札幌中央信用組合 理事長 松本 征人
4 回	北海道の中小企業の動き	北海道中小企業団体中央会 専務理事 大島 政實
5 回	北海道の経済動向と金融行政の実際	北海道財務局 財務部 理財部長 川島 俊通
6 回	北海道の経済と金融の動き	日本銀行札幌支店 課長 赤堀 吉則
7 回	札幌中央信用組合の ①生きがいを感じ安心して働ける環境づくり	札幌中央信用組合 総務部 理事部長 安藤 賢一
8 回	札幌中央信用組合の ②仕事を通じて学んだ財務・経理の実践	札幌中央信用組合 総務部 副長 左近 秀章
9 回	札幌中央信用組合の ③営業戦略と成功事例	札幌中央信用組合 業務推進部 理事部長 浅山 廣司
10 回	(営業推進と体験談) ④札幌中心部における商店街の大きな変化とそ の中での営業推進	札幌中央信用組合本店営業部 部長 泉 融和
11 回	(営業推進と体験談) ⑤親睦会を通じて顧客との絆とビジネス・マッ チング	札幌中央信用組合西野支店 支店長 天満屋 敷誓
12 回	お客様から見た信用組合の実際	株式会社 白石ゴム製作所 社長 千葉 武雄
13 回	信用組合による北海道の中小企業支援	(社)北海道中小企業家同友会 理事 一関 脩 (株式会社 北海道フキ・社長)
14 回	私たちが求める社会人のあり方	札幌中央信用組合 専務理事 赤川 博己
15 回	試験	





## 4. 産学連携講座『金融・証券講座』

『金融・証券講座』の案内

**北海道大学 経営学部**

# 産学連携講座

北海道大学経営学部では、産学連携講座として、  
本年もまた北海道銀行、野村證券のご協力により金融・証券講座を開催します。

## 金融・証券講座

開講 平成24年 11月29日～12月20日  
[全4回] 17:50 ▶ 19:20

**第1回 11月29日(木)**  
経済・産業の展望と  
投資の考え方  
講師 野村證券札幌支店  
次長兼法人課長 柴田 成幸 氏

**第2回 12月6日(木)**  
株式市場、債券市場の  
役割と投資の考え方  
講師 野村證券札幌支店法人課  
課長代理 本吉 博 氏

**第3回 12月13日(木)**  
先の見えない時代  
～将来に備えたライフプランとは～  
講師 北海道銀行個人営業部リテール推進室  
ファイナンシャルプランナー 金子 由紀 氏

**第4回 12月20日(木)**  
道内経済の  
活性化を考える  
講師 北海道銀行法人営業部地域産業調査室  
主任 坂野 公紀 氏

**会場** 北海道大学 7号館3階 D30番教室  
札幌市東区北14丁目1番30号(地下鉄東区線「学園南」駅3番出口)

**定員** 一般 100名 学生 200名 (当日先着順・入場無料)

**連絡先** 北海道大学 経営学部 TEL: 011-841-1161 (FAX 2403)

## 金融・証券講座の活動報告

概要：経営学部は、昨年度同様 2012 年度も、(株)北海道銀行、野村証券(株)と連携して金融・証券に関する 4 コマの公開講座を開講し、開かれた知的な刺激の場を学生並びに一般の方々に提供しました。

実施日：2012 年 11 月 29 日から 12 月 20 日

会場：7 号館 D30 教室

内容：第 1 回 11 月 29 日

「グローバル化する世界と資本市場の果たす役割」

野村ホールディングス CC 推進室 SCO

名古屋大学客員教授 池上 浩一

第 2 回 12 月 6 日

「株式市場、債券市場の役割と投資の考え方」 野村証券(株)札幌支店 本吉 博

第 3 回 12 月 13 日

「先の見えない時代」

～将来に備えたライフプランとは～

(株)北海道銀行 金子 由紀

第 4 回 12 月 20 日

「道内経済の活性化を考える」

(株)北海道銀行 坂野 公紀

参加者：4 回で延べ 200 人



## 5. 特別講演会（対象：本学学生，本学教職員，一般市民）

経営学部では，総合実践英語の企画として2012年度に特別講演会を4回開催しました。「英語というビジネスツール」を柱に置き，国内外の様々なビジネス・シーンで活躍される方々を講師としてお招きし，これまでの経験や現在の仕事の内容等を，メール等の各種書類や実際に業務を行う様子を収めたビデオを見ながら講演を聞きました。

また，第1回のナザレチャク博士による講演会は全編英語（通訳なし）で行い，参加者にとっては内容を理解するだけでなく英語を聞く機会となりました。

さらに，第2回以降の講演会では，講演会終了後講師を交えた参加学生との交流会も実施し，講演会で語り尽くせなかったことや，学生からの突っ込んだ質問等，活発な意見交換を行いました。

講演会には経営学部生を中心に延べ200名ほどの参加がありました。各回の内容は次のとおりです。

第1回 世界から人を呼び込め ～アジア観光ビジネスのこれから～

日 時：2012年6月27日(水) 14:20～15:50

会 場：7号館D30教室

講 師：アンディ・ナザレチャク博士

APacCHRIE（アジア太平洋ホスピタリティ観光教育協議会）会長  
英語による講演会（通訳なし）

北海学園大学経営学部特別講演会

### 世界から人を呼び込め

～アジア観光ビジネスのこれから～

2012年6月27日(水) 14:20～15:50  
7号館D30教室

本講演会では，観光・ホスピタリティ産業において業務と研究の両面で実績のある専門家を講師とし，アジアにおける観光ビジネスの発展性について語っていただきます。

本講演会は無料で行われます（通訳なし，質疑応答の機会として事前予約は不要）。

講師：アンディ・ナザレチャク博士  
Dr. Andy Nazarechuk

講演内容は以下のとおりです。APacCHRIE（アジア太平洋ホスピタリティ観光教育協議会）会長，日本をはじめとしたアジア各国，さらに欧州や南米，アフリカ諸国で観光ビジネスの発展と観光の発展，観光・研究に深く関係している企業を中心に本学も最新情報をお伝えし，セミナーにおける意見交換や体験型イベント企画の場も用意。

参加機関

- ・ 本学経営学部学生生活支援センター学生生活センター
- ・ 本学経営学部学生生活支援センター経営学部 本学ホスピタリティ産業研究開発センター
- ・ 本学国際交流センター（国際文化学部）
- ・ 本学国際交流センター（国際文化学部）
- ・ 本学国際交流センター（国際文化学部）

～経営学部生だけでなく，興味のある全ての方にご参加いただけます。～

共 催：大学英語教育センターと英語教育研究センター  
北海学園大学経営学部経営研究センター  
協賛先：本学経営学部国際交流センター





第2回 英語というビジネスツール(2)

~ニューヨークで働く~

日時：2012年7月24日(火) 12:40~15:50

会場：7号館D30教室(講演会)・行動科学実験室1(交流会)

講師：早川 宏毅 ニューヨーク州登録建築士

Cooper, Robertson & Partners (ニューヨーク市)

聴き手：内藤 永 経営学部教授



第3回 英語というビジネスツール(3)

~北海道とアジアをつなぐ~

日時：2012年10月19日(金) 14:20~17:00

会場：7号館D30教室(講演会)・行動科学実験室1(交流会)

講師：鈴木 智子(さとこ) コンチネンタル貿易株式会社

聴き手：内藤 永 経営学部教授



第4回 英語というビジネスツール(4)

TOP 0.1%の条件：アジアビジネスへ挑戦する「志力」

日時：2012年12月7日(金) 14:20~17:00

会場：7号館D30教室(講演会)・行動科学実験室1(交流会)

講師：加藤 敏明 ネットショップ「北国からの贈り物」経営



## 6. 学部学生の企業研修

### 「企業研修」の目的等

グローバル化・高度情報化の進展・産業構造の変化などにもない、社会から求められる人材は大きく変わりつつあります。このため産官学連携による創造的人材の育成をめざす、いわゆるインターンシップ制度が、現在注目を集めています。経営学部では、「企業研修」という単位認定科目を設置し、学生が実際の企業・団体等において実習・研修的な就業体験をさせています。この「企業研修」では、学生が実際の企業における実地研修の経験を通して、現実の企業社会で求められる人材像を実体験として認識し、大学教育と結びつけることによって、より一層の教育効果をあげることを目的としています。

#### ・カリキュラムにおける位置づけ

科目名：「企業研修」2単位  
対象：経営学部の1部3・4年生  
履修者数：約20名  
単位認定：卒業認定単位に算入

#### ・実地研修中の事故、損害、機密保持等のリスク対応

- ・「企業研修」履修生には、「学生教育研究災害傷害保険（インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険）」の加入を義務づけ、保険料210円を学生の負担とする（補償金額は、対人賠償と対物賠償合わせて1事故につき1億円限度）。
- ・また、事前指導の際にも問題が起きないように十分にガイダンスする。

#### ・「企業研修」科目の授業形態

##### ①事前指導

- ・実地研修開始までに、プログラムのガイダンスやビジネスマナー、研修先企業の事業概要説明等の一斉指導。
- ・業界研究・企業研究、実地研修テーマ等について個別指導があります。
- ・この期間中に、各自の実地研修先を最終的に決定します。

##### ②実地研修

- ・夏季休業中、指定された研修先企業で所定の期間（約2週間程度）、実地研修します。
- ・実地研修中は研修先企業の担当者が指導します。

##### ③事後指導

- ・事前指導および実地研修を通じて得たことの総括を行います。
- ・実地研修報告書の作成や、報告会での発表準備（プレゼンテーション）を行います。
- ・なお、報告会は、実地研修先企業の担当者・経営学部教員等を招いて実施します。

## 「企業研修」の学生，大学，研修先企業・団体等の活動報告

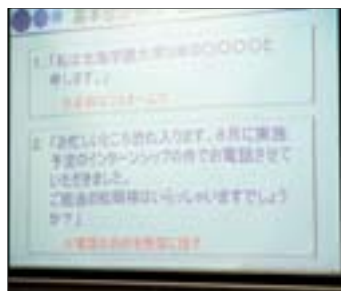
学 生	大 学	研修先企業・団体等	
11月	次年度実習先への受入要請 「企業研修」カリキュラムの概要策定・ 募集要項の決定 次年度『「企業研修」ガイドブック』の 作成	次年度：実地研修カリキュ ラムの調整（企業概要の作 成・確認）	
12月	履修生募集説明会への参加 履修申込書類の提出	履修生募集説明会開催	
1月	面接日時・場所の確認	面接日時・場所の発表	
2月 ↓ 3月	面接 選考結果の確認	履修申込者に対する面接 選考・可否の決定 可否の発表	
4月	履修登録 健康診断の受診 事前指導（一斉・個別）受講開始	『「企業研修」ガイドブック』の発送 事前指導（一斉・個別）開始	『「企業研修」ガイドブック』 の受取
5月	実地研修先の決定 実習に向けての準備	実地研修先と履修生とのマッチングおよ び発表 研修先との連絡・調整（担当者の確認）	
6月	「企業研修」保険料の支払い 研修先への挨拶・事前打合わせ 研修内容・日程等の確認	研修先に対する研修生依頼の通知 研修先との「覚書き」締結 研修内容・日程等の確認	研修生依頼通知の受取 大学との「覚書き」締結 研修生との事前打ち合わせ
7月	研修先へ「誓約書」等書類提出 事前指導レポートの提出 結団式	事前指導レポートの受取 結団式	研修内容・日程等の決定 「誓約書」等書類の受取
8月	研修先での実地研修 （～9月中旬） 「報告書」の作成・提出	研修先に「研修生評価表」を渡す研修 中，研修先への訪問 「報告書」の受取	研修生の受入，指導 （～9月中旬）
9月	事後指導受講	「研修生評価表」の受取 事後指導，報告会の準備	「研修生評価表」の提出
10月	報告会での報告 報告会用：PowerPointの提出 修了式（修了証授与）	報告会，PowerPointの受取 成績提出	報告会への参加

※研修先企業と大学との協定書締結は随時行う（新規のみ）。

## 「企業研修」の事前指導「ビジネスマナー講座」

特別講師：今 由貴乃・永田 雅美（キャリアバンク株式会社）

ビジネスマナー〈基本編〉 6月2日(土)実施		ビジネスマナー〈応用編〉 6月9日(土)実施	
内 容	進 行	内 容	進 行
ビジネスマナーの必要性 ・マナーとルールの違い ・社会人としての心構え 身だしなみ	講 義	前回の復習 挨拶の効用, ポイント お辞儀のポイント	講 義
挨拶の効用, ポイント ・お辞儀 ・礼法	講義+ 参加型	実務マナーのポイント ・電話・携帯電話の受け方 ・名刺の受け渡し ・接客, 接遇のマナー	講義+ 参加型
報告・連絡・相談 (ホウレンソウ) ・5W3H	講 義	・コミュニケーション ・好感のもてる話し方 ・聴き方	講義+ 参加型
言葉遣い (敬語・二重敬語, 若者言葉) ・クッション言葉 ・練習問題: 皆で考えます	講 義	・お礼状の書き方	講 義
	講義+ 参加型	質問	



## 「企業研修」の現地研修先企業・団体

業 種	実施研修先企業・団体
製 造	株式会社 モロオ
物 流	苫小牧埠頭株式会社
情 報・通 信	パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社 北海道社
報 道・出 版	株式会社毎日新聞社 北海道支社
サ ー ビ ス	キャリアバンク株式会社

「企業研修」の事後指導「報告会」 10月6日(土) C 30 教室 (11:00～12:00)





## 7. 市民公開講座

### 市民公開講座の案内

HOKKAIDO UNIVERSITY  
北海学園大学 経営学部 市民公開講座2012

# プレゼン資料作成入門

An Introduction to Presentations using PowerPoint

— 基礎からのパワーポイント活用 —  
〈道民カレッジ連携講座〉

2012 10/13<sup>±</sup>.20<sup>±</sup>.27<sup>±</sup>

各日とも9:30から受付 | 講義時間 | 10:00 — 12:10

会場 → 北海学園大学 豊平校舎7号館6階  
コンピュータ実習室E

地下鉄東豊線「学園前」駅下車3番出口  
札幌市営バスが止まるので、札幌駅まで徒歩15分、そこから徒歩3分です。道民カレッジの案内は、道民カレッジのホームページをご覧ください。

講師：北海学園大学経営学部

- 教授 福永 厚
- 教授 天笠 道裕
- 准教授 上田 隆幸

第1回 10/13<sup>±</sup>

- プレゼンテーションとは？
- 学生によるプレゼンテーション
- パワーポイントを使ったプレゼン資料の作成(基礎編)：  
データ入力と多様なアレンジメント

第2回 10/20<sup>±</sup>

- パワーポイントを使ったプレゼン資料の作成(応用編)：  
プレゼンも盛りだくさんの様々なテクニック
- プレゼン実施に向けた取り組み：  
1.オリジナルテーマの設定、2.ストーリー作り、  
3.情報収集、4.オリジナル・プレゼン資料の作成

第3回 10/27<sup>±</sup>

- プレゼン実施に向けた最終調整：プレゼン資料のチェック・仕上げ
- オリジナル・プレゼン資料を用いた受講者によるプレゼンテーション

主催・北海学園大学

## 2012年度 経営学部市民公開講座の活動報告

テーマ：プレゼン資料作成入門—基礎からのパワーポイント活用—

日程：2012年10月13日(土)、20日(土)、27日(土) [全3回]

会場：豊平校舎7号館6階 コンピュータ実習室E

概要：今日、多くのコミュニケーション機会において、多種多様なコミュニケーションが図られています。その一つとして、プレゼンテーションがあげられます。このプレゼンテーションにおいては、相手に自分の情報・メッセージを公開・伝達し、理解を促すことが行われます。このとき、相手が正しい理解に至らない場合、相手からの正しい評価を得ることができません。このことは、ビジネスの場面でも、日常生活の場面でも変わりません。ビジネスでは、どんなに高品質な商品を開発しても、その商品価値を相手に正しく伝えられなければ、販売競争に負けてしまいます。日常生活でも、どんなに魅力ある企画を思いついても、それを相手に伝えられなければ、賛同者は出てきません。こういった問題を解決するためには、高いプレゼンテーション能力が必要となります。具体的には、情報やメッセージをわかりやすく正確に表現する技能が必要になります。この技能の一つにパワーポイント活用技術があげられます。すなわち、効果的なパワーポイント活用は、効果的なプレゼンテーションの一翼を担うことであり、重要な技能に位置付けられます。そこで、本講座では、このパワーポイントの活用方法に関して、基礎からわかりやすく解説しました。具体的には、パワーポイントに関して初心者である方々に対して、様々な機能の使い方を紹介しました。このとき、実際にパソコンを操作しながら理解を深めていただきました。最終的に、受講者の方々には、パワーポイントを活用して作成したオリジナル・プレゼン資料を用いたプレゼンテーションを体験していただきました。

日程	講師	内容
第1回 10月13日(土)	上田 雅幸	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレゼンテーションとは？</li> <li>●学生によるプレゼンテーション</li> <li>●パワーポイントを使ったプレゼン資料の作成（基礎編）：データ入力と多様なアレンジメント</li> </ul>
第2回 10月20日(土)	福永 厚	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パワーポイントを使ったプレゼン資料の作成（応用編）：プレゼンを際立たせる様々なテクニック</li> <li>●プレゼン実施に向けた取り組み：               <ol style="list-style-type: none"> <li>①オリジナル・テーマの設定、②ストーリー作り、③情報収集、④オリジナル・プレゼン資料の作成</li> </ol> </li> </ul>
第3回 10月27日(土)	天笠 道裕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレゼン実施に向けた最終調整：プレゼン資料のチェック・仕上げ</li> <li>●オリジナル・プレゼン資料を用いた受講者によるプレゼンテーション</li> </ul>



## 8. 保護者懇談会

経営学部では毎年、新入生及び在学生の保護者を対象に、懇談会を実施している。この懇談会は、学部教育や学生生活、大学施設、卒業後の進路についての説明・相談することで、新入生の保護者にとって、本学経営学部への進学決定にあたり、「どのような教育を受けることができるのだろうか」、「卒業後の就職先は確保されるのだろうか」などの疑問を、また、上級生の保護者にとっては、履修・成績をはじめとする修学状況や就職先についての不安を払拭してもらい、大学への理解を深め、安心して学生生活の充実に向けた支援をいただくことを目的としている。

なお、2009年度からは、札幌（各学部毎）の他に、帯広・旭川・函館でも開催している。

### 2012年度参加人数

	札幌	帯広	旭川	函館	計
組数	64	8	12	4	88

### 2012年度経営学部保護者懇談会開催要領（札幌会場）

#### 1. 実施日程

開催日 2012年10月21日(日)

会場 本学7号館 2階D 20・D 50

#### 2. 主な内容

9:00～ 受付開始（資料配布）

9:30～ 就職状況説明

11:10～ 開会 学部長挨拶

11:15～ 教務事項説明

12:10 経営学部の就職指導について

10:00～ 個別相談会

13:30 終了



アンケート集計結果（回収枚数 47 枚）

- (1) 開催時期について
- ・ 適当である 38
  - ・ もっと早い時期を希望 7
  - ・ その他 4
- (2) 興味深かった内容（複数回答可）
- ・ 大学の制度，教育理念・方針について 16
  - ・ 学生の修学状況（履修状況等）について 20
  - ・ 就職状況について 38
  - ・ その他（学内見学，授業参観等） 1
- (3) 就職説明について
- ・ 1・2年生対象「就職活動支援体制の概要説明」に参加 28
  - ・ 3年生対象「就職活動支援勉強会」に参加 14
  - ・ 無回答 4
  - ・ その他

自由記述

- ・ 社会が求める学生を作る，親としての心構え，参考になった。
- ・ 日々の講義の中に就職に関する指導があるのに驚いた。
- ・ 内容がまとまっておらず，何を伝えたいのか分からなかった。
- ・ まだ1年生であるが，こういう機会を積み重ねて子供にその時が来たときは，少しでも子供の力になれる親になっていたいと思った。
- ・ 内定を得た先輩たちのアドバイス，体験談がとてわかりやすく参考になりました。

- (4) 経営学部（あるいは大学全体）への要望・意見（自由記述欄）

【保護者懇談会全般】

- ・ 建学の精神や学部の教育理念が理解できてよかった。
- ・ 様々な目標に向かって頑張れるように指導していることがわかり，親として安心した。
- ・ 日曜開催で夫婦揃って参加できたことがよかった。学内見学はやってほしい。
- ・ 早速子供といろいろ話し合いたいと思った。

【教務関係】

- ・ 単位の取り方の説明が明確でわかりやすかった。先生方の熱意が伝わってきた。
- ・ 単位の説明は，1年生の早い段階で聞けば親としてすぐためになると思う。
- ・ 企業研修に興味を湧いた。

【その他】

- ・ 保護者向けに公開講座を行ってほしい。
- ・ ネットで（懇談会の）内容を見れたり聞けたりすると，参加できない保護者向けに有効ではないか。
- ・ 社会に出てから速攻力となる教育をこれからも期待したいと思う。

## 9. 高校生向け授業（出前講義・高大連携授業）



### 出前講義

日程	学校名	派遣教員	テーマ (2013年3月15日現在)
5月18日	寿都高校	澤野 雅彦	「日本企業における採用と昇進のしくみ」
5月29日	北海学園札幌高校	大平 義隆	「ソトもの、ワカもの、バカものが組織の未来を開く」
6月25日	遠軽高校	下村 直樹	「広告を通じた私たちと企業の関係」
6月26日	札幌あすかぜ高校	春日 賢	「大学入門」～経営学の場合～
6月27日	札幌創成高校	佐藤 芳彰	「流通と商業経営」
7月9日	札幌光星高校	増地あゆみ	「集団は賢いか」～体験ゲームを通じて考える～
7月20日	倶知安高校	澤野 雅彦	「経営学と経済学」
8月29日	網走南ヶ丘高校	春日 賢	「日本の会社と社会②」～セブンイレブンと流通革命～
8月30日	札幌月寒高校	澤野 雅彦	「企業スポーツ挫折のあとに」
9月21日	新得高校	春日 賢	「NARUTOの経営学」～マンガに見る仕事と組織～
9月26日	苫小牧南高校	春日 賢	「日本の会社と社会②」～セブンイレブンと流通革命～
10月4日	札幌東陵高校	鈴木 修司	「間違いだらけの意思決定」
10月10日	札幌国際情報高校	春日 賢	「NARUTOの経営学」～マンガに見る仕事と組織～
11月6日	札幌啓北商業高校	澤野 雅彦	「企業スポーツ挫折のあとに」
11月7日	札幌新川高校	田中 昭憲	「実技 運動部のトレーニング」～ストレッチングを使い分ける～
11月9日	月形高校	鈴木 修司	「間違いだらけの意思決定」
11月9日	月形高校	小島 康次	「親子関係のつまづき」
12月5日	苫小牧東高校	下村 直樹	「商品が売れるために広告ができること」
12月13日	札幌手稲高校	佐藤 大輔	学び体験ゼミ
12月20日			
1月24日			
1月31日			
3月15日	旭川南高校	春日 賢	「日本の会社と社会②」～セブンイレブンと流通革命～

## 高大連携授業の案内

大学の授業を一足先に体験!



平成24(2012)年度

# 北海学園大学

# 高大連携授業

高等学校教育と大学教育との接続連携を目指して——



高校生の皆さんのなかには、大学で行われている授業に興味をもち、実際にどんな授業が行われているのかを体験したいと望んでいる方もいることでしょう。近い将来、大学への進学を考えている場合には、特にそのような希望は強いのではないのでしょうか。

本学で実施する「高大連携授業」プログラムは、勉学意欲が高く、積極的に進路の決定に取り組んでいる高校生の皆さんを支援するためのものです。これは本学で通常行われている授業を公開するのではなく、皆さんを対象として特別に準備して実施されるものです。内容は様々な領域にわたっており、これらを体験することは、本学で行われている授業についてばかりでなく大学における研究活動の一端を知るうえでも有益であると思われます。

ぜひ積極的に参加して、皆さんの勉学への意欲・知的好奇心をさらに高めつつ、進路の決定に大いに役立てていただきたいと思います。



**北海学園大学** <http://hgu.jp/>

**恵比寿校舎** 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号  
→地下鉄東豊線「学園北」駅西口徒歩約5分

**山鼻校舎** 〒064-0926 札幌市中央区南20条西11丁目1番1号  
→JR「山鼻」駅より徒歩で約5分(西11丁目)駅から  
山鼻で「山鼻」バス停(02)「027」乗車(11分)下車すぐ

TEL.011-841-1161 (代表) 内線2213

## 10. 講義支援システム GOALS

経営学部で開設当初より使用してきた講義支援システム GOALS は、2011 年度から CoursePower にソフトウェアをリニューアルし、学生総合支援システム G-PLUS! と連動して全学的に利用できるようになりました。GOALS からは、24 時間、いつでもどこでもネット上の様々な講義情報にアクセスできます。加えて、講義の資料や配布プリントを事前にダウンロードして講義に臨んだり、ネット上に提示された予習／復習課題をこなすことで授業の理解度を向上させることもできます。また、科目によってはレポート課題の指示や提出、テストや補習も GOALS 上で行われています。教員のより良い教材コンテンツ作成のために、ヘルプデスクも用意されています。



### ノートパソコンの活用

経営学部 1 部では、学生に入学時にノートパソコンを用意してもらい、授業を含めた毎日の学生生活の中でパソコンに慣れ親しみ、有効に活用してもらっています。



2012 年度経営学部推奨モデル

### GOALS の講義一覧画面

福永 厚 (教員) さん | 設定変更 | Profile | Language 日本語 | Help | ログアウト

---

**講義一覧**

年度「2011年度」 期「通年 / 第1学期 / 第2学期 / 通年(集中) / 第2学期(集中)」 曜日「すべて」 科限「すべて」  
 所属「すべて」 講義コード「 教員名」 設定条件変更

火	2限	<a href="#">経営科学</a>	通年	福永 厚
	2限	<a href="#">経営科学Ⅰ</a>	第1学期	福永 厚
	2限	<a href="#">経営科学Ⅱ</a>	第2学期	福永 厚
水	4限	<a href="#">演習Ⅰ</a>	通年	福永 厚
	5限	<a href="#">演習Ⅱ</a>	通年	福永 厚
木	2限	<a href="#">プログラミングB</a>	通年	福永 厚
	2限	<a href="#">プログラミングⅡ</a>	通年	福永 厚
金	2限	<a href="#">データベース</a>	通年	福永 厚
	4限	<a href="#">特別講義(特別演習)</a>	通年	福永 厚
	6限	<a href="#">情報コミュニケーション論特別講義</a>	通年	福永 厚
その他		<a href="#">特別講義(卒業研究)</a>	通年	福永 厚
		<a href="#">新しい説明会</a>	通年	ヘルプデスクほか
		<a href="#">経営学部「演習(福永 厚)」申込み</a>	通年	福永 厚ほか

### GOALS の講義編集画面

19101 2011年度1
講義編成VIEW

すべて閉じる | すべて開く
講義追加 | 授業追加

- 講義
- 講義編集**
- 授業状況
- 出席管理
- 結合成績
- 履修者管理
- レポート
- 講義設定
- 利用履歴
- ログ確認
- コミュニケーション
- 掲示板
- 掲示板編集
- F&S編集
- ODA
- お問い合わせ

+		共通科目	編集	▼ ▲	
+		4月1日新開校1限	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.1)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日(4月1日)新開校1限(学生入計No.2)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日(4月1日)新開校1限(学生入計No.3)	詳細	編集	▼ ▲
-		新開校7レポートの提出(4月1日)	詳細	編集	▼ ▲
		<b>新開校</b>   <b>移動</b>   <b>スキャン</b>	<b>材料追加</b>	<b>材料追加</b>	
+		自由課題(レポート)の提出	詳細	編集	▼ ▲
+		自由課題提出	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.1)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.2)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.3)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.4)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.5)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.6)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.7)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.8)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.9)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.10)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.11)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.12)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.13)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.14)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.15)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.16)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.17)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.18)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.19)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.20)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.21)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.22)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.23)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.24)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.25)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.26)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.27)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.28)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.29)	詳細	編集	▼ ▲
+		4月1日新開校1限(学生入計No.30)	詳細	編集	▼ ▲

— 109 —



## 11. 就職内定状況

### 経営学部卒業予定者の主要内定先

業 種	内定先名称 (2013年2月15日現在)
官公庁・団体	国税専門官, 自衛隊一般曹候補生, 神奈川県警察, 東京消防庁, 北海道(上級), 北海道(中級), 北海道警察, 札幌市役所, 札幌市消防, 岩見沢市消防, 帯広市役所, 登別市役所, 函館市役所, 名寄市役所, 幌延町役場
各種団体・事務所等	北海道漁業協同組合連合会, きたそらち農業協同組合
建設・住宅・不動産	ミサワホームイング北海道株式会社, 株式会社アーキビジョン二十一, 株式会社アバマン ショップホールディングス, 株式会社エムズ, 株式会社コプロ・エンジニアード, 株式会社ビッグ, 株式会社一条工務店, 株式会社桂和商事, 株式会社真和エンタープライズ, 株式会社竹中工務店, 株式会社カクガイ, 株式会社藤井ビル, 住友不動産販売株式会社, 積水ハウス株式会社, 川田工業株式会社, 大東建託株式会社, 大和ハウス工業株式会社, 北海道セキスイハイム株式会社, 明和地所株式会社
水産・食品	よつ葉乳業株式会社, 株式会社ケイシイシイ, 株式会社ロバパン, 株式会社きのとや, 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
医療品・医療関連・化粧品	精密機器・医療用機器, セリア新薬工業株式会社, 科研製薬株式会社, 小野薬品工業株式会社, 扶桑薬品工業株式会社
ゴム・ガラス・セメント・セラミックス	極東高分子株式会社
鉄鋼・非鉄・金属製品	三和シャッター工業株式会社
電子・電機	マスプロ電工株式会社, 株式会社オーディオテクニカ
精密機器・医療用機器	アルケア株式会社
印刷・パッケージ	総合商研株式会社, 凸版印刷株式会社
OA機器・家具・スポーツ・玩具・その他	ニンジニアネットワーク株式会社, 株式会社トーモク, 株式会社オリバー, 日本特殊陶業株式会社
農業・林業・鉱業・漁業・酪農畜産	有限会社ファーム富田
エネルギー	旭川ガス株式会社
銀行	株式会社ゆうちょ銀行, 株式会社北海道銀行, 株式会社北洋銀行, 株式会社北陸銀行
信用金庫・労働金庫	空知信用金庫, 札幌中央信用組合, 帯広信用金庫, 大地みらい信用金庫, 北央信用組合, 北海信用金庫, 北海道労働金庫, 北空知信用金庫, 北門信用金庫
その他金融	ニッテレ債権回収株式会社, 北海道信用保証協会
リース・レンタル	株式会社トヨタレンタリース札幌, 株式会社トヨタレンタリース新札幌, 中道リース株式会社, 東和産業株式会社
保険	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社, 三井住友海上火災保険株式会社, 第一生命保険株式会社, 東京海上日動火災保険株式会社, 日本生命保険相互会社, 北海道漁業共済組合, 明治安田生命保険相互会社
証券・投信・投資顧問	SMBC日興証券株式会社, 岡三証券株式会社, 上光証券株式会社, 東海東京証券株式会社
商社・卸売	株式会社Paltac, 株式会社あらた, 株式会社ナシオ, 丸水札幌中央水産株式会社, 大槻食材株式会社, 北一食品株式会社, トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社, 株式会社東京スタイル, ナトリ株式会社, ハウジング山地株式会社, 永浜クロス株式会社, 株式会社キムラ, 株式会社クワザワ, 株式会社小林本店, 高橋産業株式会社, 阪和興業株式会社, 大豊資材工業株式会社, 北海道エア・ウォーター株式会社, 株式会社ほくやく, 株式会社モロオ, コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社, ソニーリージョナルセールス株式会社, ガイワボウ情報システム株式会社, 株式会社アドウィック, 株式会社オフィス24, 株式会社キセキ北海道, 株式会社三菱電機ビジネスシステム, 株式会社寺岡北海道, 株式会社竹山, 株式会社マック, 太平洋興産株式会社, 富士ゼロックス北海道株式会社, 北海道オフィス・マシン株式会社, トヨタ部品北海道共販株式会社, 株式会社オートバックスセブン, 株式会社ヨコハマタイヤジャパン, 株式会社北海道クボタ, 株式会社丹波屋, 株式会社富士メガネ, 株式会社北海道クラウン, 札幌花き園芸株式会社, 大丸藤井株式会社

業 種	内定先名称 (2013年2月15日現在)
流通・小売	イオン北海道株式会社, ホーマック株式会社, マックスバリュ北海道株式会社, 株式会社LIXIL ビバ, 株式会社セブン-イレブン・ジャパン, 株式会社ホクレン商事, 株式会社札幌丸井三越, 生活協同組合コープさっぽろ, 株式会社アルファベットパステル, 株式会社カズマ, 株式会社しまむら, 株式会社スタートトゥデイ, 株式会社ジーフット, 株式会社セーの, 株式会社タカキュー, 株式会社ポイント, 株式会社ユナイテッドアローズ, 株式会社デンコードー, 株式会社加藤水産, 株式会社魚長食品, 株式会社柳月, 株式会社インファーマシーズ, 株式会社サエグサ薬品, 株式会社サッポロドラッグストア, 株式会社サンドラッグプラス, 株式会社ツルハ, 株式会社富士薬品, ノーステックテレコム株式会社, ハミューレ株式会社, プリモ・ジャパン株式会社, 株式会社エムデジ, 株式会社ハスコムモバイル, 株式会社リライアブル, 株式会社リンクアップ, 株式会社一高たかはし, 株式会社 NHC, 千代田サービス販売株式会社
自動車販売	トヨタカローラ札幌株式会社, ネットトヨタ札幌株式会社, 株式会社ケーユーホールディングス, 札幌トヨタ自動車株式会社, 札幌トヨペット株式会社, 日産プリンス札幌販売株式会社, 函館トヨタ自動車株式会社, 北海道マツダ販売株式会社, 北海道三菱自動車販売株式会社, 北海道日産自動車株式会社
フードサービス	株式会社アイビス, 株式会社アレフ, 株式会社サッポロライオン, 株式会社はま寿司, 株式会社三ツ星レストランシステム, 株式会社松屋フーズ, 株式会社大庄, 株式会社オーディンフーズ, 株式会社銀座ルノアール, 日本レストランシステム株式会社
ホテル・旅行	ルートインジャパン株式会社, 株式会社 JTB 北海道, 株式会社エイチ・アイ・エス, 株式会社グランビスタホテル&リゾート, 株式会社星野リゾート・トマム, 名鉄観光サービス株式会社, 野口観光株式会社
教育・学習支援業	学校法人札幌慈恵学園, 学校法人滋慶学園グループ, 株式会社ファミリー, 株式会社東京アカデミー, 国立大学法人北海道大学, 練成会グループ
エンターテインメント	株式会社ベガスベガス, 株式会社マルハン, 株式会社合田観光商事, 株式会社山本ビル
調査・コンサルタント	フワワーヒルズ株式会社, 株式会社セイコーマート, 株式会社吉岡経営センター, 株式会社光通信, 株式会社船井総合研究所, 株式会社テンボスバスターズ
人材紹介・人材派遣	メディカルジョブセンター株式会社, 株式会社 VSN, 株式会社インテリジェンス, 株式会社ミキハウス, 株式会社新和グローバル
その他サービス	セントラルスポーツ株式会社, 株式会社アイティ・コミュニケーションズ, 株式会社カナモト, 株式会社北日本整備, 株式会社大塚商会, 三幸グループ, 創和プロジェクト株式会社, 大和リビング株式会社
情報処理・ソフトウェア	NEC ソフト株式会社, キーウェア北海道株式会社, ドゥウェル株式会社, ユニバーサルコンピュータ株式会社, 株式会社 HBA, 株式会社エコミック, 株式会社プロトコーポレーション, 株式会社ベイロール, 株式会社北海道 CSK, 株式会社エイチ・エル・シー, 株式会社クレスソフト, 株式会社ホープス, 北海道日本電気ソフトウェア株式会社
情報 (通信・マスコミ)	ソフトバンクモバイル株式会社, 日本郵便株式会社, 株式会社 H・O・C, 株式会社アドウェイズ, 株式会社エースプロジェクト, 株式会社マイナビ, 株式会社 JTB コミュニケーションズ&サポート北海道, 株式会社北海道アルバイト情報社
運輸・倉庫	ANA エアポートサービス株式会社, ANA 新千歳空港株式会社, トーウンサービス株式会社, 株式会社サカイ引越センター, 共通運送株式会社, 札幌定温運輸株式会社, 小樽倉庫株式会社, 日本通運株式会社, 北海道旅客鉄道株式会社
医療・福祉施設	医療法人漢仁会, 医療法人道北勤労者医療協会, 医療法人社団悠仁会羊ヶ丘病院, 社会福祉法人札幌報恩会, 社会福祉法人北ひろしま福祉会, 北海道国民健康保険団・連合会
専門・技術サービス業	寺田勉税理士事務所, 税理士法人あおぞら会計事務所, 税理士法人さくら総合会計, 滝沢憲弘会計事務所

※認定心理士の資格は、2001～2011年度までの11年間で209名が取得しました。また、2012年度卒業生の取得予定者は19名です。

## 12. 経営学部開設 10 周年記念講演・シンポジウム

開催日時：2012 年 12 月 21 日(金) 14 時 20 分～17 時 30 分

テーマ：『新しい 10 年，今こそ哲学を持って人づくりを』

概要：1. 第一講演「新時代担う人材の育成について

～企業が求める人材，教育機関への期待～

株式会社 北海道銀行頭取 堰八 義博

2. 第二講演「変わる世界・変わる企業・変わらぬ哲学」

明治学院大学 教授 大平 浩二

3. シンポジウム

シンポジスト 株式会社 北海道銀行頭取 堰八 義博

明治学院大学 教授 大平 浩二

北海学園大学 教授 石嶋 芳臣

司 会 北海学園大学 教授 大平 義隆



# 北海学園大学 経営学部開設 10 周年記念

## 記念講演&シンポジウム

テーマ

# 新しい10年、今こそ 新哲学を持った人づくりを

経営学部の新しい10年が始まります。  
混沌とした時代に、哲学を持った学生を育てていきたい。  
それが私たちの願いの一つです。

講演者

株式会社北海道銀行

頭取 堰八 義博 氏

「新時代を担う人材の育成について  
～企業が求める人材、教育機関への期待～」

講演者

経営哲学学会元会長

明治学院大学教授 大平 浩二 氏

「変わる世界・変わる企業・変わらぬ哲学」



日時 2012年  
**12/21** 金 **入場無料**  
14:20～17:30 事前予約不要

会場 北海学園大学 豊平校舎  
7号館 2階 D20 番教室  
札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 番 40 号  
(地下鉄東豊線「学園前」駅下車3番出口)

開設10周年記念特別講演  
テーマ **入場無料 事前予約不要**  
北海道の魅力デザインする  
～駅という魅力を中心に～  
講演者 今津英治大学客員教授 白井 幸彦 氏  
日時 **12月19日** 14:20～15:50  
会場 北海学園大学 豊平校舎7号館  
2階 D20番教室

お問い合わせ先 北海学園大学 経営学部 TEL 011-841-1161  
詳細はホームページをご覧ください <http://hgu.jp/>

内線  
2403

### 13. 経営学部教員の書籍出版活動・学会発表活動

#### 書籍出版

氏名	書名	発行所	発行日
春日 賢	「マネジメントのパイオニア ―産業社会発展への貢献」 河野大機編著『ドロッカー』経営学史学会叢書第X巻、 第2章	文眞堂	2012年6月

#### 経営学部教員の学会発表活動（五十音順）

氏名	学会名	会場	発表日	発表テーマ
浅村 亮彦	日本心理学会	川崎：専修大学	9月11日	メタ認知尺度（吉野ら，2008）の基準関連妥当性の検証
	北海道心理学会	函館：北海道教育大学函館校	9月29日	バーチャルリアルティによる空間学習の個人差に関する研究
	日本教育心理学会	沖縄：那覇市	11月23日	文書読解に対する読みの目標とメタ認知能力の影響(2)―読みの目標を設定しない場合との比較―
天笠 道裕	アジア太平洋工業経営学会	タイ・プーケット	12月3日	Extended Fuzzy Outranking Method in Decision Making
石井 耕	経営史学会	東京：明治大学	11月3日	日本の人事政策の起源―江戸幕府後期御家人の人材登用と昇進
石井 晴子	異文化コミュニケーション学会	千葉：麗澤大学	11月10日	Implementing Theories for Leadership in a Multicultural and Diverse Environment On Board―An Educational Perspective―
石嶋 芳臣	日本経営学会	東京：日本大学	9月8日	コーポレート・ガバナンスと人的資源管理―競争力の源泉に関して―
上田 雅幸	日本生産管理学会	広島：広島修道大学	9月9日	学生によるExcel機能を活用したサークル練習スケジュール作成
浦野 研	中部地区英語教育学会	岐阜：じゅうろくプラザ	6月30日	英語教育研究法の過去・現在・未来
	全国英語教育学会	愛知：愛知学院大学	8月5日	Measuring Japanese learners' implicit and explicit knowledge of adverb placement in English.
	外国語教育メディア学会	神戸：甲南大学	8月9日	Moodleを利用した教室外スピーキング活動
	北海道教育委員会外国指導助手の指導力向上研修会	札幌：ホテルライフォート	12月6日	Roles of assistant language teachers and Japanese teachers of English for a successful team-teaching relationship: From a second language acquisition perspective.
	外国語教育メディア学会	広島：広島大学	2月23日	形態・統語規則について第二言語学習者が持つ暗示的知識の測定法：これまでに使われてきた手法の構成概念妥当性を考える
大石 雅也	労務理論学会	福岡・九州大学	10月13日	労働者メンタルクライシスの現状とその対策の先進事例

氏名	学会名	会場	発表日	発表テーマ
大平 義隆	経営哲学学会	東京：立教大学	9月5日	社会科学の法則性と経営哲学
春日 賢	経営学史学会	東京：明治大学	5月27日	ドラッカーにおける目的・目標について
小島 康次	北海道心理学会	函館：北海道教育大学	9月29日	ウィゴツキー理論のスピノザ的展開へ向けた一考察
	日本教育心理学会	沖縄：那覇市	11月23日	自主シンポ：ピアジェを語り直す
佐藤 淳	日本教授学習心理学会	東京：早稲田大学	7月1日	提示したルール命題の抽象度が課題解決と操作水準に及ぼす影響—「等式の性質」を用いて—
澤野 雅彦	比較文明学会	京都：京都大学	11月18日	企業とスポーツの文明学
下村 直樹	日本商業学会	札幌：北海商科大学	5月26日	広告、感情、物語—テレビ・コマーシャルを用いた分析—
	日本広告学会	東京：駒沢大学	11月18日	物語広告における感情反応の効果
菅原 浩信	実践経営学会	久留米市：久留米大学	8月5日	コミュニティ・レストランのマネジメントに関する事例研究
	公益事業学会北海道・東北部会	札幌：北海学園大学	9月8日	東日本大震災後の住民意識に見る被災地支援と地域復興の課題
鈴木 修司	日本心理学会	川崎：専修大学	9月13日	妥協効果に及ぼす時間的距離の影響(2)
関 哲人	日本情報経営学会	青森：青森公立大学	10月27日	制作スタッフとファンとの双方向によるアニメ展開—ニコニコ生放送の事例に基づく考察—
	日本経営学会北海道部会	札幌：北海学園大学	12月15日	コンテンツ産業における双方向メディアによる制作者とファンとのコミュニケーションについて
田中 昭憲	北海道体育学会	札幌：札幌大学	11月17日	高校野球部員の室内50mダッシュにおける局面区分の検討
内藤 永	大学英語教育学会北海道支部 第26回支部大会	札幌：北海学園大学	7月14日	産業界が求める英語力
	大学英語教育学会第51回国際大会	愛知：愛知県立大学	8月31日	Preliminary Research on Overseas Internships in Singapore
	ABC 77th Annual International Convention	ハワイ：Waikiki Beach Marriott Resort & Spa	10月25日	Research on Business English Use in a Japanese Restaurant in Singapore
森永 泰史	KEER (KANSEI ENGINEERING AND EMOTION RESEARCH) 学会	台湾：National Cheng Kung University	5月22日	Strategic Design Management Methods in Major Japanese Electronics Companies
	日本経営学会北海道部会	釧路：釧路公立大学	7月14日	インハウスデザイナーをイノベーターとして活用するための論理—東芝とシャープの事例分析から—
	2012 Design シンポジウム	京都：京都大学	10月17日	デザイナーの構想力研究
山中 亮	東北心理学会	新潟：新潟大学	7月14日	大学生の死後観に関する一考察—他者の死と自己の死との違いを中心に—
	アジアヒューマンサービス学会	沖縄：宜野湾市	7月28日	The features of undergraduates' narratives about "Continuing Bonds"
	日本心理臨床学会	名古屋：愛知学院大学	9月15日	故人との絆に地域風土が及ぼす影響(1)—津軽地方と北海道の大学生を対象とした予備的検討—

## 14. 経営学部刊行物

### ・経営論集

巻号	執筆者	論文名
第10巻第1号 通巻第34号 (2012.6)	森永 泰史	デザイン・マーケティング研究の成果と課題
	森永 泰史	デザイン・ドリブン・イノベーションの理論的検討
	春日 賢	著書からみたドラッカー
	鈴木 修司	妥協効果に及ぼす時間的距離の影響(2)
	伊熊 克己	大学生のライフスタイルと健康に関する研究—1部学生と2部学生の生活状況と健康状態の比較—
	関 哲人	取引仲介サイトにおける人的交流会参加回数、メタ情報とシステムへの情報登録数の関係—日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会東日本地域における求貨求車事業の実態調査(第2報)—
	孔 麗	中国の地方国有企業における企業統治と党(=政府)の関与—中国的企業統治システムの課題—
第10巻第2号 通巻第35号 (2012.9)	黒田 重雄	(研究ノート) マーケティング・ミックス・4Pのどこに問題があるのか
	春日 賢	ドラッカーの世界とその原点—『経済人の終わり』をめぐって—
	関 哲人	情報品質文脈形成条件の検討—求貨求車システムの事例に基づく考察—
	伊藤 友章	市場志向とイノベーションとの関係を巡る問題—伝統的市場志向概念とイノベーションとの関係について—
	倉本 英明	中小企業の会社分割会計の研究
第10巻第3号 通巻第36号 (2012.12)	黒田 重雄	(研究ノート) マーケティング体系化における方法論に関する研究ノート—反証主義, 論理実証主義, そして統計科学へ—
	伊藤 友章	拡張された市場志向, 市場志向を補完する要因, ラディカル/破壊的イノベーションとの関係について—伝統的市場志向概念を超えて—
	春日 賢	後期ドラッカーについて—世界観としての相貌—
	角田美知江	市場参入順位と消費者行動に関する研究—特定保健用食品市場を事例として—
	黒田 重雄	(研究ノート) マーケティングの体系化における人間概念に関する一考察—二分法(企業と消費者)概念から統合的人間概念へ—
	孔 麗	(研究ノート) 中国における老舗企業の認定とその経営戦略—創業180年の瀋陽老辺餃子館を事例に—
第10巻第4号 通巻第37号 (2013.3) 経営学部開設 10周年記念号	春日 賢	「第三の道」論としてのドラッカー —非経済市場主義社会の希求とその終着地点—
	鈴木 修司	ピーナッツ効果における選択・拒否・交換様式の比較
	天笠 道裕	Multiple Attributes Decision Making by Extended Fuzzy Outranking Method with DSS Framework
	マーク・松根	Utilizing a Preparatory Online Oral Discussion Forum to Improve In-class Group
	下村 直樹	物語広告に対する男女の共感差
	内田 昌利	ストレッチ・バジェットिंगの発現形態—わが国企業における予算の統制機能をめぐって—
	菅原 秀幸	BOP ビジネスで共有価値の創造に挑む中小企業の可能性
	関 哲人	
	黒田 重雄	マーケティングを学問にする—考察
	遠藤 雄一	(研究ノート) 江別市民の購買と消費者意識
	土橋 明	(研究ノート) 幸福度指数に関する一考察—ボランティアポイントモデルの提案—
	経営学部開設10周年記念講演・シンポジウム 新しい10年, 今こそ哲学を持った人づくりを	
	白井 幸彦	北海道の魅力をデザインする—駅という魅力を中心に—
	堰八 義博	新時代を担う人材の育成について—企業が求める人材, 教育機関への期待—
	大平 浩二	変わる世界・変わる企業・変わらぬ哲学
	堰八 義博	シンポジウム
	大平 浩二	
石嶋 芳臣		
大平 義隆		

・経営学部報（パッセージ）

号	発行月	内容
第19号	2012年7月	2011年度卒業生に聞く大学生活の魅力
第20号	2013年3月	就活Labo, 菅原秀幸「スタンフォードを語る」



## 15. 人事異動等

### 退職

種別	氏名	発令年月日	備考
退職	五十嵐 祐	2012年9月30日	社会心理学

### 海外出張・研修

種別	氏名等・研修期間	備考
海外出張	菅原 秀幸 教授 2011年9月8日～2012年9月7日	米国（カリフォルニア・スタンフォード大学）
海外出張	伊藤 友章 教授 2012年4月1日～2013年3月31日	米国（ワシントン州ワシントン大学）
海外出張	青木千加子 准教授 2012年9月1日～2013年8月31日	米国（オレゴン州・ポートランド州立大学）
在外研修	石井 晴子 教授 2013年2月4日～2013年3月1日	内閣府青年交流事業



菅原秀幸



青木千加子



伊藤友章



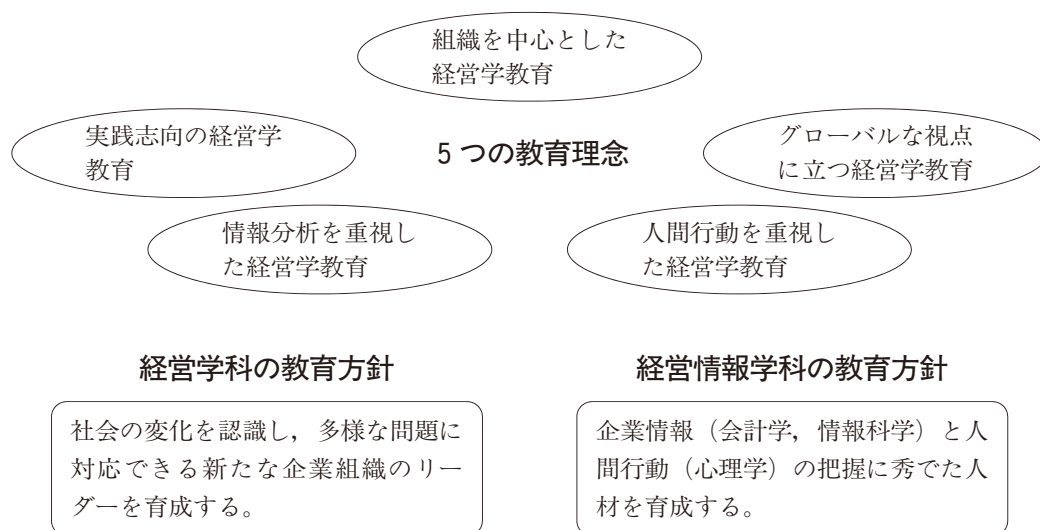
石井晴子



## 16. 経営学部の教育目標

### 経営学部のディプロマポリシー（学位授与の方針）

自由、進取及び不屈の精神を涵養し、経営分野の専門知識とそれを活かす実践力とを併せ持ち、組織や社会を力強く発展させることができる優れた人材を育成する。



### 学部教育の特色

今日の企業組織を取り巻く環境変化は、合理性ばかりでなく、社会性、人間性、創造性にもとづく問題解決を必要としています。本学部の目的は、こうした新しい社会の動向に沿った問題解決能力を有する人材の育成に努めることです。そこで、合理的なマネジメント教育はもとより、グローバル化の流れに対応するコミュニケーション手段としての実践的な英語教育、高度な情報ネットワーク社会に対応する最新のマルチメディア教育、社会性や人間性を探究する心理学教育、生涯を通じた仕事のあり方を考えるキャリア教育を体系的に展開します。そして、学んだ知識を実践に活かす企業研修プログラムや海外総合実習、行動科学実験実習等の様々な実習科目の配置によって、ロジックに通じるばかりでなく、高い実践性を有する人材を育成します。このような特色は、他大学の経営系学部には類を見ないものです。

体系的なキャリア教育

企業研修プログラム

高いレベルの情報教育

体系的な心理学教育

実践的なビジネス英語教育

海外総合実習